

東北自動車道

R9福島管内舗装補修工事

割掛対象表参考内訳書

- ・割掛対象表参考内訳書は、入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って、請負契約上の拘束力を生じるものではない。
- ・割掛対象表参考内訳書の内容に関する質問は受付けない。

令和8年10月

東日本高速道路株式会社 東北支社
福島管理事務所

【共通仮設費】

割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
工事用機械 運搬費	質量 20 t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬及び運搬時の損料に要する費用をいう。	貨物自動車による運搬 機種－大型路面切削機 重量 29 t－1 台－1 回・往復 本宮 IC 基地 : 運搬距離 35.3 km (片道)－1 回・往復	
舗装修繕工事 機械現場内移動費	高速道路上で行う舗装修繕工事における、基地から現場までの貨物自動車による運搬移動に要する費用をいう。	大型路面切削機 1 台－ 15 回・往復（昼間） 39 回・往復（夜間） アスファルトフィニッシャー 1 台－ 15 回・往復（昼間） 39 回・往復（夜間） マカダムローラー 1 台－15 回・往復（昼間） 39 回・往復（夜間） タイヤローラー 1 台－ 15 回・往復（昼間） 39 回・往復（夜間） 運搬距離（片道：本線延長） 東北自動車道 郡山 IC～本宮 IC 間 6.7 km 本宮 IC～二本松 IC 間 12.9 km 二本松 IC～福島西 IC 間 18.9 km 福島西 IC～福島 JCT 間 6.2 km 福島 JCT～福島飯坂 IC 間 3.8 km 福島飯坂 IC～桑折 JCT 間 4.6 km 桑折 JCT～国見 IC 間 6.5 km 国見 IC～白石 IC 間 23.5 km 東北中央自動車道 福島 JCT～福島大笹生 IC 間 1.4 km 桑折 JCT～伊達桑折 IC 間 2.0 km	
はく離抵抗試験費	高粘度改質アスファルトを用いない表層・基層・レベリング層・上層路盤に使用する混合物のはく離抵抗性の確認に必要な水浸ホイールトラッキング試験に要する費用をいう。 試験方法は NEXCO 試験法 244 とし、1 試験当りの供試体枚数は 2 枚とする。	試験数－20 枚 高機能舗装Ⅱ型用混合物 : 配合設計 1 粒度各 2 枚 基層用遮水性アスファルト混合物 : 配合設計 1 粒度各 2 枚、試験練り 1 配合 2 枚 橋梁レベリング層用混合物 : 配合設計 3 粒度各 2 枚、試験練り 1 配合 2 枚 高弾性上層路盤用混合物 : 配合設計 3 粒度各 2 枚	

【雑工事費】

割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
残アスファルト合 材等の取り除き費	路面切削工において橋梁部のレベ リング層を含めた改良を実施する 場合における、路面切削後の床版 面に残ったアスファルト合材の撤 去に要する費用をいう。	バックホウ、コンプレッサー、ピックハンマー 1 式 バックホウ（0. 2 m3） 1 台ー 2 回・往復（昼間） 運搬距離（片道距離：本線延長） 東北自動車道 本宮 I C ～二本松 I C 間 1 2. 9 k m 二本松 I C ～福島西 I C 間 1 8. 9 k m 福島西 I C ～福島 J C T 間 6. 2 k m 東北中央自動車道 福島 J C T ～福島大笹生 I C 間 1. 4 k m 対象橋梁 福島荒川橋（下り線）ー 1 7 1. 2 m2 既設床版面防水工無	
事前コア採取費	舗装修繕工事において、施工開始 前に実施する舗装部のコア採取に 要する費用をいう。	コア採取数ー 2 1 本 標準舗装厚ー 2 8 0 mm（本線・土工部）	○
試験舗装費	良好なアスファルト表層工等を仕 上げるために敷均し、締固め方法等 を検討することを目的に行う舗装 をいい、在来舗装の切断、切削、舗 装廃材の処理、混合物の製造、運搬 及び舗設、瀝青材散布等に要する費 用をいう。	施工場所 本宮 I C 内プラザ 試験舗装 上層：基層用遮水性アスファルト混合物（t = 1 0 c m） 中層：高弾性上層路盤用混合物（t = 9 c m） 下層：高弾性上層路盤用混合物（t = 9 c m） 施工面積 約 1 5 0 m2、切削 2 8 c m、3 層施工	○
仮路面標示工費	土工・橋梁において既設の外側線並 びにセンターライン路面標示が施 工に伴い消滅するような場合に、視 線誘導として速乾性を有する常温 型トラフィックペイントで仮路面 標示を設置する費用をいう。（幅 5 c m）	仮路面標示工（昼間施工）ー 4 6. 2 m 仮路面標示工（夜間施工）ー 1, 2 1 6. 6 m	○